

公民館だより ひがしの

No. 72

平成14年5月15日発行



2002. 5. 2撮影

ゴヨウツツジ

今年も保古山にゴヨウツツジが咲きました。

いつもの年は静かな中でコソコソ咲いていましたが、今年は格別です。

保古山では、20本近くが確認されます。中には樹齢200年と思われる幹径20cm程の大木もあります。

ゴヨウツツジは五枚の葉（五葉）が特徴で、花の白いものはシロヤシオと呼ばれています。例年5月の中程に咲く花ですが、今年は5月の連休には純白でかれんな花が見られました。

さて、昨年12月1日、皇太子ご夫妻に内親王愛子さまが誕生になり、「そのお印（しるし）」がゴヨウツツジと決まりました。このお印とは皇室で植物をモチーフにした紋章で、調度品を区別するために持物などに印されるものであります。

そんな話題もあって写真撮影、見学でにぎわいました。この“便り”が届くころには花は終わっておりますが、五ッ葉は確認できます又、今年の写真は公民館に展示してあります。ぜひご覧下さい。

寄稿

ロマンな公民館から ハードな振興会へ

—人生ロマンあり、ソフト・ハード、

そして泣き笑いかな—

東野開発振興会会長

東野自治連合会会長 伊藤 明

公民館は愉快なところでした。

女の方の出入りが多いのです。年数を重ねるにつれて女の方はほほえみが多くなるようです。

「今日も公民館へ来られてよかったなも。」という発想の人が多いのです。帰る時もわざわざあの事務所の重いドアを軽々しく開けて「どうもありがとうございました。」と、いつて帰られるのは、まず女の人たちでした。

公民館は住民の方に開かれた場所で、文化的発展や生活の向上のために役立つ働きをしなければなりません。その機能を十分に果たしてないのに、公民館をよく利用し、自分たちの文化をはぐくんたり、集団の意義を深めたりしてみえる姿を見かけることは実に愉快でした。

公民館を利用する人たちは「人生はロマンな」の承認者であつたようです。そういった承

認者をもつと多くすることが一つの課題でした。いずれにしても、公民館での長くて短い四年間は充実感、成就感を与えていただいた月日でした。

ご理解・ご支援・ご協力を本当にありがとうございました。ございました。

さて、公民館を退職してからは、下手で乱雑な野菜づくりに活を入れて先輩諸氏が造つてみえるような美園に挑戦しようと思気込んだ矢先に降つて湧いたご指命には「人生はロマンだ」などと甘言を申しているわけには参りません。

「人生は厳しい」の苦言を承知で立ち向かわなければなりません。

人間は赤ちゃんで生まれ出る時、十人中十人が自分のこれからの人生の厳しさ・つらさを予知して、泣いて生まれてきます。(シェイクスピアの言)。泣きながら誕生し、辛くて厳しい試練を受けながらも、やがて笑顔の生活のあり場を見出そうとします。逃げたいけれどもなんとかしのぐ、逃げることもあるけれどもどこかで這いあがる。その中でほほえみの境地の若干を獲得する。そんな人間がやはり美しいのでしょうか。その美しさは男性より女性に今のところ多くそそがれているようです。

さて、振興会の新役員は総会で承認される前に初顔合わせ会をもちました。規約のアウトラインを知りました。承認後は五月十一日に正式の第一回会議を開催します。

当分の方針は、

◎ 東野開発振興会の目的・役割を明確にしている。

◎ 役員の役割分担をする。

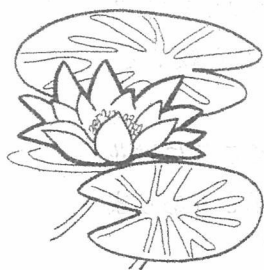
◎ 振興会と自治連合会の関係を究明する。

◎ 東野の問題点を検討・討議し、少しでも解決策をさぐる。

◎ 東野の活性化をはかる検討委員会を設置する。

◎ 振興会、自治連合会の情報をできるだけみなさんに提供する。

総会の時にも申しましたが、新役員は一人をのぞいて、全員が現職のばりばりで日夜活躍を余儀なくさせられます。ご理解の上、ご支援とご指導くださるよう切にお願いいたします。



半世紀前までは人間にとつて本来めでたい話題として取り上げられて来た長寿が「高齢化問題」として問題視される昨今であります。

近年高齢者人口の増加に伴い、老人問題は老人だけの問題ではなく社会全体の構造上の問題であると思う、我が国の伝統的な家族制度の変革による世帯の核家族化、親に対する扶養意識の変化に依るもので老人の暮らしの上で不安を持つ老人は少くないのです。

「物の豊かさ」を追い求める時代から「心の豊かさ」に価値を見いだす時代が変わったと言われて久しいのに社会全体に明るさや、ゆとりがとぼしく将来への不安ばかりが語られるのはなぜでしょうか。

経済でも教育でも福祉の世界でも、社会は大きく変わってきました。これまで普通だった考え方が通用しなくなり、失われて行くものだけとはとてもはつきりしているのに、その代わりに何か新たに得られるのがもう一つはつきりしない、誰もその見通しについて明言できないといった状況が続いています。

そうなると、あれも不安、これも不安になつて、現社会は問題だらけになつてしまつています。そんな時は、自分自身は自分で守るしかない、いつまでも若く生きよう「私は老いない」いつまでも万年青年でと夢を持ち体の健康、心の健康であります。しかし現実には十年前と比べると肉体的には無理の出来ないことが自分では

解っている、そうであるならば心まで老いることがないよう気持ちだけでも若く夢を持った人生を送りたいものである。そういう気持ちで最後まで張り切つて生きてポツクリ逝くのが理想ではあるのですが。

こればかりはどうなるかわかりません。介護を受けるような状態になる場合もあります。

高老者にとつて孤独は最大の悲劇であると思います。私事ですすが突然家内を亡くして見て家内のいろいろの過去の出来事が悔しいとともにどうしても思い出されて、身にしみ入るよう孤独を感じてしまう時があります。

こうした孤独から脱出の手段の一つとしては仲間などと話をしたり、体を動かす事だと思ひます。

現在夫婦でおられる方は、現在の夫婦生活を大切にしてお互いが健康であることです。

これから東雲会の活動に一段と力を入れて皆さんが積極的に参加ができるようにし会員の皆さんが明るく楽しく健康で生きていて良かったと感じられるようにしたいと思ひます。



アヤメ会

千藤 郁子

私は「アヤメ会」にお誘いを戴いて未だ日が浅いのですが、本当に良かったと感謝して居ります。一日も怠る事の出来ない食べる事、この大切な事すら年と共に面倒くさくなりがちなのですが「アヤメ会」にて食材の心配もなく同年輩のグループで先生（土方紀代子先生）の指導の下にて楽しい勉強会です。お蔭様で野菜を作る意欲が出て同じ野菜でも幾通りもの調理の仕方で作る張合いと、味わう楽しさを発見しました。

食後にはみんなで野菜の作り方又今流行している言葉巧みなセールの誘いに乗りかけたが撤退の経験等聞かせてもらつて大変参考になります。

去る二月小学校六年生の生徒さんとの交流会の折にはクラス全員の生徒さんにお逢い出来て嬉しかったです。

日頃は何かと心配を頂いて学校の行事の見学案内状、時としてお餅迄も持つて来て頂いて本当に有難いと思つては居てもお礼も言えずに居りました。現在テレビ新聞で耳を眼をおおいたい様なニュースが報道される折、東野小学校の生徒さん達は素直で明るい皆さんで心より安心しました。先生方の御努力は勿論のこと、みんなで良い環境を作ることが大切だと思ひました。

私の所感です



東野地域各種団体役員名簿

(今年度改選分のみ
四月末決定分)

平成十四年度の団体役員
の方々です。
よろしく願います。

《東野開発振興会》

会長 伊藤 明
副会長 飯田 新蔵
副会長 足立 智胤
理事 伊藤 善尚
理事 小林 正人
理事 勝野 信夫
理事 伊藤 正信
理事 遠藤 茂樹
理事 篠原 洋三
理事 土方 康彰
理事 伊藤 正司
理事 岡本 光美

《東野生産森林組合》

理事 千藤 敏昌
理事 渡辺 実善
理事 千藤 隆也
理事 夏目 克彦
理事 西尾 雅幸
理事 足立 武文
理事 與合 和武
理事 丸山 義明
理事 篠原 重遠
理事 千藤 浩雄
理事 永野 司
理事 伊藤 昌平
理事 光岡 雅之

《東野幼稚園保護者会》

会長 堀江 佳徳
副会長 西尾 真二
副会長 足立 義一

《自治連合会》

会長 伊藤 明
副会長 飯田 新蔵
副会長 足立 智胤

環境委員	交通安全委員	体育委員	青少年育成推進員	自治会長	自治会名
光岡 克昌	西尾 慶穂	藤井 政充	光岡 克昌	光岡 克昌	小の川
勝 重男	三浦 忠信	篠原 周夫	勝 重男	勝 重男	上浜井場
三宅 紀光	三宅 紀光	長谷川久雄	三宅 紀光	三宅 紀光	下浜井場
足立 一夫	猪野 久子	伊藤 敏勝	足立 一夫	足立 一夫	中辻
伊藤 正信	藤井 達朗	伊藤 憲吾	三宅 鉦造	三宅 鉦造	下辻
西尾 幸男	金子 孝文	原 藤司	西尾 幸男	西尾 幸男	白坂
伊藤 隆司	土方 成美	西尾 雅明	伊藤 隆司	伊藤 隆司	北万場
土方 利克	土方 利克	夏目 克彦	土方 利克	土方 利克	南万場
土方 浩充	伊藤 昌平	古山 栄一	土方 浩充	土方 浩充	井の下
渡辺 一正	足立 智胤	伊藤 善章	渡辺 忠義	渡辺 公彦	小麦田
松本 広英	松本 広英	足立 信夫	三宅 一彰	松本 広英	北中切
伊澤美和子	安江 勝己	伊藤 昌美	松浦 明德	松浦 明德	南中切
市川 宏明	古川 正紘	渡辺 勝政	市川 宏明	市川 宏明	向島
奥野 栄司	岡本 和久	千藤 一二三	西尾 要男	西尾 要男	下沢
伊藤 勝通	渡辺 忠明	遠藤 龍美	伊藤 勝通	伊藤 勝通	中島
土方 政勝	千藤 良明	伊藤 彰秀	土方 政勝	土方 政勝	南天王前
伊藤 正司	伊藤 秀幸	千藤 安雄	伊藤 秀幸	伊藤 正司	北天王前
藤田 敏昌	藤田 敏昌	伊藤 明	藤田 敏昌	藤田 敏昌	上染戸
中嶋 則善	千藤 進	渡辺 泰成	中嶋 則善	中嶋 則善	下染戸
千藤 琢象	水野 稜三	河村 和直	藤田三千郎	藤田三千郎	南大門
市川 定枝	丸山 年道	丸山 勝夫	市川 定枝	市川 定枝	上大門
鈴木 英明	長谷川雅通	千藤 利彦	鈴木 英明	鈴木 英明	下大門
西尾 重政	伊佐治明人	渡辺 浩二	西尾 重政	西尾 重政	宮の前
西尾 精治	安江ヤス子	鈴木 睦子	西尾 精治	西尾 精治	東雲
藤井 匡	奥村 一広	松原 高志	林 岳史	林 岳史	協和
渡辺 正昭	田口 忠	古澤 英樹	岩切 次男	岩切 次男	北山



《東雲連合会》

連合会長 篠原 佳昭
副会長 藤井三千郎
婦人部長 土方 和子

庶務 神谷 昭吾
第一東雲会長 篠原 佳昭
第二東雲会長 土方 和子
第三東雲会長 伊藤 信子
第四東雲会長 足立 伯江
第五東雲会長 千藤 猛司
第六東雲会長 伊藤 明

《東野小学校PTA》

顧問 内田 敏彦
会長 伊藤 忠廣
副会長 千藤 敏美
書記 松本 広英
書記 長谷川泰丈
書記 伊藤 啓子
書記 長谷川加代子
書記 藤井 昭郎

《東野幼稚園保護者会》

保護者会長 堀江 佳徳
副会長 西尾 真二
副会長 足立 義一

《東野幼稚園保護者会》

保護者会長 堀江 佳徳
副会長 西尾 真二
副会長 足立 義一

《東野幼稚園保護者会》

保護者会長 堀江 佳徳
副会長 西尾 真二
副会長 足立 義一

《東野幼稚園保護者会》

保護者会長 堀江 佳徳
副会長 西尾 真二
副会長 足立 義一

《東野子供育成会》

会長 長谷川泰丈
市理事 渡辺 裕之
光岡 則昌

《恵那市消防団第三分団》

分団長 千藤 信久
副分団長 伊藤 博志
副分団長 渡辺 正寿
部長

(本部・警防・総務)

光岡 寿欣

(操法・予防・防災・少年)

千藤 稔

(救急・通信)

伊藤 憲吾

(本部・会計・操法)

松浦 弘幸

(訓練・機械)

伊藤 裕章

班長

(自動車ポンプ班)

千藤 浩孝
渡辺 俊一

(可搬第1班)

三宅 和示
依馬 博文

(可搬第2班)

西尾 文昭
足立 光隆

岡本 崇

(可搬第3班)

長谷川良司
市川 直樹

6月9日

恵那市消防団操法大会
出場選手
指揮者 西尾 文昭
1 番員 鈴木 豊
2 番員 千藤 浩正
3 番員 市川 晴久
補助員 水野 智文

《東野テレビ共同施設》

組合長 工藤 正司
副組合長 籠橋 初夫
会 計 藤井 達朗
土方 政勝

4月の行事 (その一部)

4月1日 辞令交付式
5日 自治会長会議 年間事業計画、予算について
9日 幼稚園入園式 平成9年、10年生れの8名入園
小学校入学式 平成7年、8年生れの14名入学
12日 東雲会役員、慰霊塔周辺そうじ
14日 公民館講座受け付け開始
愛林祭 慰霊祭
20日 東野地区農業集落排水管理組合定期総会
24日 開発振興会総会 平成13年度 事業報告、決算報告
平成14年度 事業計画、予算
役員改選 他
27日 小学校PTA総会、歓送迎会
28日 東雲会総会 平成13年度 事業報告、決算報告
平成14年度 事業計画
役員改選について 他
5月1日 東野生産森林組合総会
平成13年度 事業報告、決算承認
平成14年度 事業計画承認、役員改選 他

乳幼児学級「すくすくクラブ」はじまる

「すくすくクラブ」とは、〇歳〜3歳までの乳幼児を持つお母さんの子育てを応援する集まりです。毎月第4金曜日、午後十時から東野公民館で開催され、現在約十五人のお母さんたちが入会しております。子供たちも元氣いっぱいです。

第一回は恵那市消防署による「乳幼児の救急救命」の講演会を開き、心肺蘇生の方法や、誤飲の処置の仕方などを教わりました。お母さんたちが講演を聞いている間は、子供たちは託児のボランティアの皆さんと一緒に、ボール遊びや積み木遊びを楽しんでいました。中にはボール遊びの方の膝にジーと抱かれていたお子さんも。

今後は、五月に公民館周辺の遠足、一月に親子でエアロビなどのお楽しみや、二月には子供の健康管理をテーマに座談会形式の学習会も行います。入会されていないお母さん、参加をお待ちしております。



じゃんけん

社会教育活動団体紹介

現在東野公民館で活動されている団体です。

詳しくは代表者にお問い合わせください。

団 体 名	場 所	活動日	分 類	会員 数	代表者	連絡先
油絵同好会	東野公民館	月 2 回	油絵	1 2	西尾 芳	26-0850
恵那太極拳愛好会 こぶし会	〃	第 1・3 火曜 第 4 金曜	太極拳	1 8	千藤芳子	25-5586
水仙書会	〃	第 1・3 火曜	ペン習字	1 3	伊藤光恵	26-0678
大正琴 むつみ会	〃	月 2 回	大正琴	1 2	市川恵美子	26-0797
楽しい墨絵の会	〃	第 2 金曜	墨絵	1 2	永野 司	20-1088
虹の会	〃	月 1 回	ボランティア	1 1	千藤美智代	26-1051
パン工房M	〃	第 2 火曜	料理	1 6	西尾昌子	25-3388
東野観遊会	〃	月 1 回	歴史・文化	1 0	千藤猛司	25-2822
東野歌舞伎保存会	〃	年 15 回	歌舞伎	1 8	伊藤秀幸	25-4675
東野ささゆり会	〃	第 2・4 火曜 第 1・3 木曜	民踊	1 1	神谷正枝	25-2989
東野食生活改善 推進協議会	〃	第 4 木曜	調理実習	1 0	桐山智子	25-2393
花無山俳句会	〃	月 1 回	俳句	1 3	丸山益夫	25-3345
マーガレット会	〃	第 3 水曜	華道	1 6	古屋富美子	26-1031

平成 14 年度前期市民講座はじまる

今回募集しましたが講座によってはまだ申込みできる講座があります。

講座名	講師	
心晴歌	水野辰夫	申込み可
ソフトエアロビ	前田芳美	申込み可
手づくりパンとお菓子	細江万里子	定数満
Walk&Talk 健康づくり	赤尾袈夫	申込み可
パソコン	西尾紀子	定数満
木目込み人形	田口京子	申込み終了

子供向け講座名	講師	
歌舞伎に挑戦	東野歌舞伎 保存会	申込み可
わくわくネチャワッパ	赤尾友和	定数満
簡単なおやつ作り	今井さよ子	定数満
木工アート	小林一雄	申込み可
紙粘土で マスコットづくり	足立晴子	申込み可

・「木工アート」「紙粘土でマスコットづくり」は大人也大歓迎です。詳しくは公民館までお問い合わせください。

むらのわだい

蛍祭りについて

定蓮寺川にホタルが戻ってきました。昔は東野のどこでもホタルの飛ぶ姿が見られた。

水辺で舞い、時には力やにホタルを放ち楽しんだことも初夏の風物詩であった。しかし、環境の変化により一時姿を消してしまった時期もありました。

ところが、最近あのホタルの神秘的な光を再び楽しむことができるようになりました。地域の人々の環境への理解と保護活動の成果と思われます。今年三月には振興会、青少年育成会議、東雲会等により、ホタルの幼虫の餌となるカワニナを放流して、ホタルの育成を助けました。また、河川内の空き缶、ビニールなどゴミ類の回収等、環境の美化活動を行いました。今年は豊かな環境の中でたくさんホタルが舞う姿が楽しめそうです。今年も六月にはホタル祭りを行いたいものです。

渡辺昌良さん達は五年前から定蓮寺川のホタルの生態を観察されどの時期にどんな動きをする・・・と研究されています。

こういった人々の熱意でホタルが育ちます。



白寿

明治三十六年生まれ、九九歳、三十七年生まれ、九八歳の同級生が二人で同級会を開かれました。

一人は、中辻 伊藤富次郎さん、一人は、向島出身（東京都在住） 鈴木弘道さんである。

二人の祭は四月二十六日伊藤家で午前十時から行われ、思い出の場所、保古の湖などを散策されました。

二人の会話では、伊藤さんは台湾での蚕種つくり、昭和八年台湾での大地震遭遇で九死に一生を得たこと、農業委員会三期の思い出、東野の山林境界のことなど。

鈴木さんは、小学校の校舎が落成式を前に焼失してしまい、宗久寺でカーテンを仕切りに何学年かで授業を受けたこと。当時の校長 矢口繁三、教師に平山（喜代治）、内田（広憲）先生など、つい数年前のことのように思い出される。

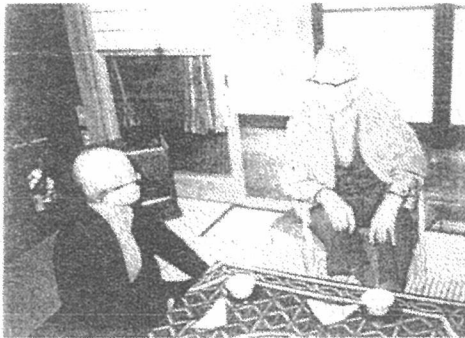
二人で酒、ビール各一本で自祝され、百賀（一〇〇歳）での再会を約束されました。

少々耳の遠いお二人ですが、話題の尽きない祭でありました。

風薫る

白寿の二人

言尽きぬ



東野地区農業集落排水事業

平成 14 年度定期総会より

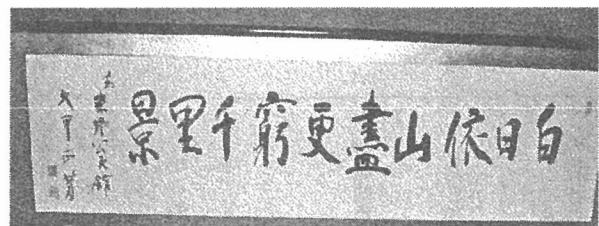
現在事業は順調に進んでおり、13年度末までに全体の 1/3 (L=7, 816m) の管渠工事が終了しております。

14年度は工事費にして4億2千万円、内処理場建設には2億2千万円の予定である。

全体の事業スケジュールとして当初は平成17年4月を供用開始（使用ができる時期）としていたが、やや早まりそうです。

なお、①組合費は当面年1,000円とする。(12年度2,000円。)

②14年度負担金は50,000円(13年度60,000円)と決定しました。



の由来について

昭和54年8月9日 当時の大蔵大臣金子一平先生が国政報告会を当館で開催 来恵の折依頼して、第68代 大平正芳総理大臣の揮毫を受けたものであります。

「白日山に依りて盡き、更に千里の景を窮む」と解されます。

花無山句会

路の葉につつみて土筆土産かな
 春の野へ九十九才先頭に
 春富士がなかなか撮れぬバスの窓
 立山の霊峰未だ春知らず
 枯野行きデューゼルカーは時計なり
 水的路すかんば一本流しけり
 精一ばい咲く山桜日日見上げ
 種初のきばのこぼる軒端の雀どち
 行く春や眼下にダム湖の景広し
 山ざくら食事処のひさしまで
 入魂にゅうこん会読経に鶯重ね啼く
 送る荷の田舎の春を包ほうに入れ
 そもそもに始まる話日脚伸ぶ

抱風子
 同
 いさむ
 茶山
 ひろみ
 恵三
 筍子
 美恵子
 靖代
 芳子
 道子
 ちかゑ
 はるか

公民館からのお知らせとお願い

すでにお知らせしてありますように、今年4月1日より公民館が月曜日と祝日の翌日が閉館になります。日曜日、祝日は開館します。(但し、特別休館は除く)

(東野事務所は通常とおりです。)

12時間ソフトボール大会開催のお知らせ

第2回東野住民12時間ソフトボール大会を次のとおり開催します。

皆さんふるってご参加、応援におこしください。

- ・日時 平成14年5月19日(日) 午前7時30分～
開会式 午前7時15分 雨天中止
(午前7時に決定)

・場所 東野小学校グラウンド

・組分け

- | |
|-------------------|
| 1. 2. 3上. 3下分団チーム |
| 4. 5. 6. 7分団チーム |

・主催 東野体育協会

「こあいさつ」(編集後記)

あつというまに四月過ぎてしまいました。

四月から東野公民館(嘱託)館長を命ぜられました。簡単な引き継ぎ、各種の行事など。

つい公民館だよりの発行が遅れてしまい、おわび申し上げます。

二十年前(昭和五十七～五十九年)、市役所の仕事としてつとめて以来、新たな気持ちで取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

“公民館だより”は日刊紙や各機関紙に取り上げられない小さな話題、地域の皆様に知っていただきたいような事柄を取り上げて、2ヶ月に一回のペースで発行したいと思えます。話題の提供、又投稿をお待ちしております。

尚、全てを掲載できないこともあります。尚、よろしくお願い致します。

館長 千藤恵三

公民館にお世話になり始めて1ヶ月、窓から見る景色は変わりませんが、気分は一新です。少しでも皆様のお役に立てますよう、努力してまいりますので、今後とも変わらずよろしくお願い致します。 主事 勝野真由美

伊藤明前館長、市川定枝前主事は、三月末で退職されました。

永い間ご苦労様でした。これからどうぞ指導下さい。

東野事務所

所長

藤井 達朗

事務員

伊東 美穂